

NEWSLETTER

No121919

これについて考えて下さい。

今週の no121619 と no121719 をお時間のある時にもう一度ご覧ください。
no121619 においては“合理性”について述べました。これこそがナンバーオペレーションが収益を生み出す最大のからくりです。ナンバーオペレーションを本業としてやっていけるだけの技能と自信を身につけた方はそれ(“合理性”こそナンバオペレーションの本質の中の本質であり収益を生み出す最大のからくりであるということ)が意味することがピンとくるはずで、逆に言えば、それが分かる人だけ到達できる世界です。ハンドの操作技術はそれが分かって初めて本当の意味で身につきます。“合理性”について本当に理解しそれを受け入れることに比べれば“RM”に関する問題は些末な現象にすぎないのです。数値変化の波に乗るのではなく数値構造の“合理性”を利用することです。数字(数値/価値/構造)をよく“観察”しそして“思考”することです。

no121719 ではレポートの内容/構成などについて述べました。レポートをうまく活用していただきたいからです。レポートは、今後、オペレーションの“ツール”の一つとしてうまく利用していただければと思います。

← レポートEMTRX, HANDTABLE, VCと同じレベルで扱って下さい。ワークブックにも利用するつもりです。

前日号(no121819)において以下の課題を掲げました。
課題は「数字(数値/価値/構造)をよく“観察”しそして“思考”すること」の訓練になり同時にその結果として果実(報酬)を手にすることができます。

どのようなハンドを組み立てるか
どの数字を攻略するか

VCを見て組み立てるハンドについてその理由/根拠を考えてください。
数値の変化や状況に単に反応するのではなく“合理的か”どうかについて立ち止まって考えた上で実行してほしいのです。

このようなプロセスを踏むことで、数字の変化に反応して飛びついてオペレーションを実行するような望ましくない習慣を排除することができます。

CG//PP といったいつも実行しているハンドについても、また、C-/P-についても、実行する前に「それでいいのか」、「なぜそれを実行するのか」、一度考えてから実行してください。

実行できる組み合わせは多くあります。
数値構造をご覧ください。

なおチャンスがあるでしょうか？

数値構造/価値構造のどこから収益を得られるのでしょうか。

新しいサイクルがスタートします。

“ローテーション”の数学的な意味はなんでしょうか。それがなぜ収益に結びつくのでしょうか。

このような課題を掲げながら解説を加えていきます。